

会 議 記 録

記録者：鈴木達也

会議名称	まちづくり懇談会（八幡地区）
開催日時	令和４年９月２１日（木）１９：００～２０：３０
開催場所	八幡コミュニティセンター 講義室
出席者	参加者：２２名 町：町長、副町長、佐藤政策財務課長、遠藤庁舎整備課長、佐野庁舎整備班長、鈴木

<会議内容>

報告・協議

・町長あいさつ

・説明・・・新庁舎建設について、財政状況について

・懇談・・・将来のまちづくりについて（新庁舎建設場所等）、町政全般について
（町民）

現予定地は一番狭いが、狭い土地ほど高い建物が必要等いろいろな要素があるが、広い土地と比べて予算的にどのような違いがあるのか。

（事務局）

現予定地は約７，０００㎡であり、延床面積は４，０００～５，０００㎡を目標としている。敷地の面積が狭ければ階数は高くなり、建物の費用は高くなり、階数を低くできれば、建物の費用は低く抑えられる。

（町民）

結論としては、土地の取得とかも含めて一番費用を抑えられる場所はいったいどこなのか。

（事務局）

土地の取得や家屋の補償についてはまだ詳しくは算定しておらず、最終的にどこが一番コストパフォーマンスが高いかはハッキリと説明できない。

（町民）

最終的に今の現予定地になる可能性が高いのか。それとも他になる可能性はあるのか。

(事務局)

現予定地は高い建物を建てることは難しく、複合施設となった場合に面積を確保できるかどうかという課題はある。厚生病院跡地については今現在解体中であり、以前厚生連の方と話した際には土地取得については6億円くらいかと聞いている。坂下高校跡地については、県と取得についてのまだ話はしていない。南幹線県有地は、いずれにせよ町が購入するという約束になっており、約6億円の費用がかかると言われている。

(町民)

現予定地に建てるということは建物が高くなるということで、北裏通り線も狭いし、街中にそういった建物があるのはあまり良いとは思わない。駐車場も狭いし、広いところに建てた方がいい。

(町民)

旧町内以外の町民からすると、役場に行くのは自動車で行く。八幡地区の町民としては車で行きやすい場所を選んで欲しい。

防災の面であるが、昨今どのような大規模災害が起きるかわからないような状況でもあり、万が一坂下町でそのような災害が発生した際には全国からボランティアの方々等もくると考えられる。その際には拠点となる広い庁舎と駐車場を確保しておかないと、ボランティアの方々自衛隊の方々の拠点も作れない。現庁舎の位置は家屋がビッシリと建っているが、大規模災害の際には家屋や電柱の倒壊であつという間に交通的にマヒしてしまう可能性はある。そういったことを考えれば幅の大きな国道49号線や南幹線のような道路沿いでないと緊急車両の往来にも窮するのではないか。

この先30年40年先を見据えて町民が来やすい場所を選んでほしい。

現予定地はたとえ役場が移動しても、町の中心地であるのは変わらないと思う。跡地はただ更地にするのではなく、そこが町の中心地であるとわかるような物を作って欲しいと考える。

(町民)

場所も含めての再考という話だが、場所が変更になるということによりスケジュールに遅れ等はでるのかどうか。

坂下高校跡地が候補地に挙がっているが、中村街道の擦れ違いできない踏切は庁舎建設の基本方針にある、来庁しやすいアクセスの良い役場には合致しないのではないか。

(事務局)

今回挙げた候補地は未利用地を懇談の叩き台として出したものであり、アクセス面等についてまでは詳しく考慮はせずに出しております。中村街道踏切の課題についても勿論把握しており、市街地の方も他方からも非常にアクセスは良くない場所となっており、今回未利用地ということで候補地を挙げさせてもらったが、アクセス面の課題の解消が可能かどうかも含めて今後検討し

ていきたい。

スケジュールについてだが、各候補地それぞれに課題があり、条件が各々違うので場所によっては延びる可能性はある。

(町民)

小学校の統合がもう見えている状況だと思うが、今後統合した際に廃校利用で庁舎とするような考えはあるのか。

(事務局)

子どもたちが減少し続けているのは事実であり、統合というものも見えてきているところではあるが、現庁舎が使用に耐えうるのも限界がきていると判断しており、庁舎の整備が先に必要であると考えている。そのため、基本構想を速やかに策定していきたい。

(町民)

社会福祉協議会周辺の土地についてが前候補にあった気がするが、今回入らないのはなぜか。先ほども聞いたのだが、どの土地が一番だと考えているのか。現予定地と社会福祉協議会周辺の土地を含めた構想で進めれば広くなるのではないか。

(事務局)

社会福祉協議会の前面道路は都市計画道路にかかることにより、さらに面積が狭くなる予定となっているため適地ではないと判断している。

(町民)

それならばそういったことも資料に含めてもらわないとわからないのではないか。コストパフォーマンスの面ではここが一番なのではないかと思う。

(町民)

子育て中の身の意見として聞いてもらいたい。20年後30年後のまちづくりを見据えてというが、それは場所先行の話し合いで良いのか。子育て中であればベビーカーを押しての来庁となったりして通路の広さ等もあったほうがいいし、ユニバーサルデザインに基づいた導線の良い庁舎であって欲しいと考える。将来のまちづくりを見据えるのであれば、まず複合施設で何が入るのか、そういった中身や機能といったものが先であり、それによってどのような広さが必要なのかとかも決まってくるのではないかと考える。場所が先行して結果的に必要な機能が入らないようではしょうがない。

(事務局)

現在社会福祉協議会からは福祉と連携を密にして仕事をしたいということから新庁舎に入りたいと希望はでている。今後観光物産協会や商工会といった話もでてくるかと思っており、そのた

めに内部の青写真を作っている最中です。

(町民)

役場庁舎が移転した際に、多少なりとも商店街に影響があると思うがどう考えているか。商店街の衰退に拍車がかかるのではないと思うが、何か打開策等はあるのか。

(事務局)

役場庁舎が移転しようとしまいと、商店街の活性化については尽力していく予定である。ただし、役場が先頭になって実施するのではなく、あくまでも商店街が主導となり役場でも支援をしてくれという立場である必要がある。役場が先頭になってやらなければならないようでは成功することはできない。なので、今の商店街についても電線からのカラスの糞害や景観整備も含めて電柱の地中化ができないかと県への打診をしているが、県としては商店街の再生という物語を作った上であれば支援することもやぶさかでないと言っている。

(町民)

この庁舎建設位置等でまちづくり懇談会を各地域で実施していく中で様々な意見等あるだろうが、町長には強いリーダーシップをとってもらって判断してほしい。そうすれば町民はむしろ安心すると思う。

また、猪俣公章や春日八郎といった音楽家が坂下出身でいらっしゃるが、今の人たちは全然わからないと思う。そういった歴史がわかるスペース等が町内にあるといい。春日八郎記念館も来館者が少ないとも聞くが、その運営もこれからどうするのか。

(事務局)

春日八郎先生は来年生誕100周年とのことであり、今の若い人たちがわからないのも無理ないかとも思う。新庁舎ができた際には猪俣公章先生や春日八郎先生のメモリアルスペース的なものを組み入れることも考える。

来年生誕100周年ということもあって、JR 東日本仙台支社には春日八郎のカラオケ列車を運行してくれという要望もしてきた。

(町民)

坂下町に以前は町民体育館があったが今はない。東公園に野球場がありプールがありサッカー場もある。中学校の部活が地域移行という話もあり、これからはクラブチームが担うこととなるのかなと思う。今後の子供たちのことを考えると、大きな大会が開けるような総合体育館があればと考える。

(事務局)

以前まだ議長であったころに県立体育館を誘致しようという意見をまとめたことがあるが、進んでいない。しかし体育館については諦めていない。今後も両沼地区みんなで話合っ、皆で県

立体育館を誘致しようと考えている。

(町民)

今回の懇談会の広報についてだが、かわら版の一部ではわかりづらい。せめて一枚ものにして欲しかった。また、各組織を利用してもっと広く集められるように努力してほしい。

(事務局)

昨日の懇談会でもご指摘があった。今後改善していきたい。

(町民)

テニスコートが地震でひび割れてそこから雑草が生えて使えない。管理の楽なオムニコートにすることはできないか。

(事務局)

テニスコートの改修については進めているが、河川敷であるため河川法に則って現状の形が変わらないようにする必要がある。

(町民)

テニスコートと他施設利用者がかち合うこともある。作るのであれば、中途半端にならないようにしてほしい。今までの坂下においては中途半端な施設もあるため、庁舎も含めてだが中途半端にならないようにしてもらいたい。